

7-5

サービス向上
レクリエーション

デイサービス男性利用者定着への取り組み

男性が楽しく通えるデイサービスを目指して

デイサービスセンター 第二光陽苑

発表者：フロアリーダー 東海 美保	
東京都練馬区関町北5-7-22	
TEL：03-5991-9917	E-mail： dai2kouyouen@mx5.ttcn.ne.jp
FAX：03-5991-9918	URL： http://www.timelyhit.ne.jp/senyoukai/

今回の発表の施設 またはサービスの 概要	社会福祉法人泉陽会が母体である。第二光陽苑デイサービスセンターは平成11年5月に開設。現在は、通所介護40名・認知症通所介護12名。特養・ショート・訪問介護・訪問看護・居宅介護支援事業所・地域包括支所を併設している。
----------------------------	--

〈取り組んだ課題〉

- 女性向けのプログラムが多く男性が楽しめない。
- 何かここに来る楽しみを見つけられないだろうか。
- 男性利用者同士の会話が持てず空白の時間が多い。
- 個別プログラムの提供。
- 新たなプログラムの構築。

〈具体的な取り組み〉

- ニーズの把握を基に「好きなこと」「興味があること」を中心に活動内容を構築していく。
- ケース会議を実施。
- グループ分けと利用者同士の仲間作り。
- 新たなプログラムの考案と、既存のプログラムの有効活用。
(将棋・囲碁・麻雀・カラオケ・釣り・畑・園芸・音楽鑑賞喫茶・男の料理教室・野球：ホームラン競争等々)
- 個別プログラムの対応
(散歩：歩行訓練・談話・絵画・デイサービスのカレンダー作り等々)
- 他部署も含め施設職員・利用者が関わる「将棋トーナメント」の実施。
- ニーズの確認（満足度調査）

〈活動の成果と評価〉

- 男性利用者が「来る楽しみ」を見つけ、通所できるようになった。

- 利用者同士の交流が持て、「今日は〇〇さんいないの？」という声が聞こえるようになった。
- 男性利用者の出席率が上がってきている。
＝数字では表せない部分もあるが、取り組み始めた半年前と比較し、出席率が83%⇒90%と向上している。将棋・囲碁・マージャン等を希望して入会される男性も増え、利用者の40%が男性になった曜日もある。
- 一つの男性プログラムを他部署も含め関わられたことで、交流の幅も広がり、多方面からデイサービスに対してのご意見も多く寄せられるようになった。
- 利用者が熱心に一つの活動に集中することで、「他は、参加したくない」という声があり、バランス良く活動を提供することが困難な面もあった。
- ニーズを引き出せず、個別活動が行き詰ったケースもあった。
- 数値等で明確に成果を表しづらかった。

〈今後の課題〉

- ニーズを引き出せなかった「何もしたくない」という方へのアプローチ
- 継続して提供できる職員体制作りと、成果を確認できる仕組みづくり
- 全体のプログラムの充実が図れるよう繋げていく。
- 本人・家族・ケアマネ・他サービス事業所職員等との連携の強化

【メモ欄】